医療法人
社会福祉法人 養和会

No.293

令和6年2月発行

きやらぼく

全老健災害相互支援プロジェクト DMSP 活動報告
（Disaster Mutual Support Project for ROKEN）

被災地派遣を終えて
（全老健災害相互支援プロジェクト DMSP 活動報告）

介護医療院　介護福祉士 課長　福間 宏喜

令和６年１月 24 日～１月 30 日まで、石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターにて、1.5 次避難所の被災者支援に行ってきました。食事はパックのお粥とゼリー、飲み物はお茶か水。段ボールベッドで、お風呂に入る事もできないという環境の中、要介護状態の高齢者が多く生活されていました。更に体育館という密閉された環境なので、感染症拡大の危険性も高く、滞在中に数名がコロナ感染のため病院に救急搬送されました。

そのような環境下で要介護状態の方々に対し、事前情報の少ない中での介護は、非常に注意を払う必要があり精神的な負担もありましたが、それでも普段経験する事ができない貴重な体験でした。

被災者談「令和３年に火事で自宅が全焼しました。ようやく新しい家を建てたのですが、今回の地震でまた家を失ってしまいました。でもこうして皆さんのような方に助けて頂いて本当に有難いと思っています。家はなくなりましたけど、命があるので頑張っていきます。」

80 歳代の女性でしたが、辛い出来事を話して下さり胸が熱くなりました。今後も被災地では非常に厳しい環境での生活が続く事が予想されます。

この経験を基に災害時における役割等を改めて見直して地域の方々に提供でき、安心して生活が送れるように率先して準備をしていきたいと強く思いました。

養和会ではこの度被災された方々への継続した支援を行っていきます。

また日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT: Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team）の依頼でリハビリスタッフの派遣も始まります。

＜ DMSP 派遣スケジュール＞

1/24 ～ 1/30	介護福祉士１名	看護師１名
1/29 ～ 2/4	介護福祉士１名	看護師１名
2/3 ～ 2/9	介護福祉士１名	看護師１名
2/8 ～ 2/14	介護福祉士１名	看護師１名
2/13 ～ 2/19	介護福祉士１名	介護員１名

賀茂神社に初詣に行ってきました

通所リハビリテーションセンター仁風荘　介護福祉士　大西 こず恵

１月の行事で初詣を企画しました。

１月１日の元旦から１日２名～３名のご利用者と出かけました。

事前にご家族とご本人に参加の意向を確認して希望される方のみ初詣に出かけました。ご家族からは「一緒に初詣に行きたくても中々難しいので、この様な機会を作ってくれて嬉しい」と言うお声も頂きました。初詣では神社でお賽銭を投げ祈願したり、お守りを買ったりと短時間での外出でしたが、普段のご利用中とは違った表情をされ、中には「昔、ここの神社で結婚式を挙げたので、その頃の事を思い出すわ」と笑みを浮かべて話して下さる方もおられました。

「昔はよく初詣に行っていたけど行けなくなった」との声を聴き、少しでも昔の思い出の場所に一緒に行ける様、外出などの企画を行って行きたいです。

家族も合流して
お参りしました！

養和会産後ケアサロン「Peaceful」の活動
～ワーク・ライフ・バランス～

CHAX　健康運動指導士　竹中 典子

≪養和会産後ケアサロン「Peaceful」とは≫

多職種連携（理学療法士、作業療法士、公認心理師、准看護師、健康運動指導士）による産後ケアチームで、産後・育児休業取得中の職員向けに月に１回開催しているサロン。

◎目　的　・心身の悩み相談（ケア）
　　・休業中の職員同士のコミュニケーションの場
　　・スムーズに職場復帰がしやすいような環境づくり　　など
◎内　容　・運動全般（ヨガなど）・子育て悩み相談・各種イベント　など

また、養和会グループは鳥取県が掲げる「イクボス・ファミボス宣言（子育て応援＋）」に登録しており、男性育休取得促進や育児と仕事の両立ができるような環境づくりを目指す取り組みをしています。

●現在育児休業取得している男性職員の声

・授乳など妻しかできないこと以外は、妻だけの自由時間もとれるよう、またお互いの負担がないように日々の生活において役割分担を工夫できています。大変ではあるが充実した日々を送らせていただいている。
・２人目の時には母１人に対し、子２人の育児はもっと大変だろうと想定し育児休業を取得した。「夜泣き時の授乳は妻、その後の寝かしつけは私」など日常生活で連携して育児ができている。

二人の男性職員は、職場が育児休業を快く取得できる環境であることに感謝している。と話しています。

現在、男性育休取得率 80%（R6.1）。

Peaceful の活動を通じ、職員誰もが互いに尊重し合う働きやすい環境を目指すお手伝いができるよう今後とも活動していきます。

森 卓也選手が、日本ローイング協会「ワールドチャレンジ表彰」を受賞！

当法人職員で、パラローイング選手の森 卓也は、日本ローイング協会「2023 年度ワールドチャレンジ表彰」に選出され、1 月 20 日（土）、JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE（東京都内）にて表彰式が行われました。

ワールドチャレンジ表彰は、2015 年に始まった日本ローイング協会独自の表彰制度で、国際大会において顕著な活躍をした選手やコーチなど日本のボート界へ多大な貢献を果たした方々に表彰されるものです。

一歩（いっぽ）開催します

3 月 23 日（土）養和病院地域交流ホールを会場に、社会福祉法人養和会主催 地域啓発イベント「一歩（いっぽ）」～ Hearing Heart こころの声を聞く～ を開催します。「一歩（いっぽ）」では、障がいのあるご利用者に障がい・病気について、今感じていること、将来の夢、皆さまに伝えたいことなどを発表していただきます。障がいについて改めて深く知る機会となり、参加された皆さまにとって新たな一歩を踏み出していただくことを願い、一歩（いっぽ）と名付けております。ぜひ、この機会に会場に足を運んでさまざまな声に耳を傾けてみませんか？多くの皆さまのご来場をスタッフ一同お待ちしております。

お問い合わせ先　はばたき　井上　　TEL 0859-48-0477

職員スキー体験会

CHAX　健康運動指導士　稲葉 将也

1 月 28 日大山ホワイトリゾートにて職員スキー体験会を開催いたしました。

職員、職員家族合わせて 10 名でスキーを楽しみました。

インストラクターによるレッスンで、初めての方でも滑れるようになりました。

「また来たい」との声がたくさんあり充実したイベントになりました。

がんじょなクラブ

仁風荘入所 作業療法士 金山 雄気

養和会では、様々な講演会や行事を通じて病気予防、認知症予防、誰もが最期まで安心して暮らしやすい地域づくりに貢献することを目指し、住吉地区と彦名地区でそれぞれ月 1 回、講演会や住民参加型の行事として“がんじょなクラブ”を開催しています。

今回は、感染症についてクイズ形式で知識を深めて頂いた後、棒体操での運動を行いました。棒で身体を動かしながら、頭で考える体操もあり、皆さん真剣な表情で楽しまれており、大いに盛り上がっていました。

養和会

養和会理念　養和会はご利用者の幸せ
地域の幸せ　職員の幸せを追求します。

こちらからHPもご覧ください
養和会

医療法人養和会　〒683-0841 米子市上後藤3丁目5番1号　TEL 0859-29-5351　FAX 0859-29-7179
社会福祉法人養和会　〒683-0841 米子市上後藤8丁目9番23号　TEL 0859-48-0483　FAX 0859-48-0484

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

※写真・作品などに関しては、ご本人の了解を得て掲載させていただいております。